

平成30年第14回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 平成30年10月26日（金）午後2時開会

2 場 所 五和農業情報センター マルチメディア研修室

3 本会議に出席した教育委員

委 員	花 里 昌 直	委 員	黒 鶴 進 治
委 員	木 下 えり子	委 員	蓑 田 え り
教 育 長	石 井 二三男		

4 本会議に欠席した教育委員

委 員 行 合 八恵子

5 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	森 下 洋 一	教 育 総 務 課 長	柴 田 和 人
学 校 教 育 課 長	山 本 洋 介	生 涯 学 習 課 長	菅 原 弘 晃
学 校 給 食 課 長	出 永 太	学 校 教 育 課 審 議 員	沢 村 祐 介
学 校 教 育 課 教 務 1 係 長	濱 中 光 徳	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	出 永 圭 史

6 本会議に付した議題等

(1) 審議事項

議第42号 臨時代理事項の承認について (教育総務課)
議第43号 天草市就学指導委員会委員の任命及び委嘱について (学校教育課)
議第44号 財産の取得について (教育総務課)

(2) 協議・報告

(1) 平成31年度市立幼稚園園児募集について (学校教育課)
(2) グローバル人材育成事業の報告について (学校教育課)
(3) 平成30年第4回市議会定例会一般質問の概要について (教育総務課)
(4) 平成30年11月行事予定について (教育総務課)

7 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、平成30年第14回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

石井教育長： 前回会議録の承認であるが、何か意見はないか。ないようであれば承認してよろしいか。

(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： 学校訪問及び諸行事に出席いただき感謝する。先日行われた本渡中学校区の小中学校の研究発表は、内容についてはともかく、新たな研究指定の形ではないかと色々な所から意見をいただいた。それから、今日は県中学校理科授業研究会が稜南中学校で開催さ

れている。午前中は授業、午後は分科会ということで、沢村審議員と出席したが、一生懸命取り組むことが大切であると思っている。まもなく県中学校駅伝競走大会が天草市で開催されるが、郡市中学校駅伝競走大会で、本渡中学校が4年ぶりに男女とも優勝した。男子は1位本渡中、2位稜南中、3位が牛深中。女子においては、1位本渡中、2位倉岳中、3位稜南中、4位本渡東中であった。特に女子の倉岳中は最終区の襷リレーまでは1位で、途中逆転され2位になったが素晴らしい成績である。また、県中学校駅伝競走大会は11月9日の10時に女子が本渡運動公園をスタートする。男子は11時10分にスタートする。時間があれば、応援をお願いしたい。それから吹奏楽関係であるが、本渡中がRKK主催の吹奏楽コンクールで最優秀賞、本渡南小が審査委員特別賞、本渡北小が金賞を受賞した。

(4) 議案

議第42号 臨時代理事項の承認について

石井教育長： 本件は人事異動に関する議案であるため、非公開で協議を行いたい。非公開とするには、天草市教育委員会会議規則第14条第1項ただし書きの規定により、出席委員の3分の2以上の賛成が必要である。非公開とすることに賛成の方は挙手をお願いする。全員賛成であるので本件は非公開とする。関係者以外の者については退席をお願いする。

(議第42号は非公開のため詳細な会議録はなし。)

議第43号 天草市就学指導委員会委員の任命及び委嘱について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

山本学校教育課長： 議案書3ページをお願いします。本件については、現在、任命している全ての委員の任期が今月末31日に満了することに伴い、新たに10名の委員を任命するもの。今回、新たに任命する委員の中で2名が新任で、他の8名については再任である。委員の氏名、経歴は記載のとおりである。なお、任用期間は平成30年11月1日から平成32年10月31日までである。

石井教育長： 事務局から説明について、何か質問等はないか。

黒鶴委員： 充職の委員はいるのか。

山本学校教育課長： 健康福祉部健康増進課の母子保健係長及び天草支援学校の校長が充職の委員である。

石井教育長： 他に質問はないか。なければ、議第43号について承認してよろしいか。

(全員同意する。)

議第44号 財産の取得について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 議案書4ページ及び資料1ページをお願いします。本件は、本渡北小学校学校用地の財産取得について審議をお願いするものである。市長に教育財産の取得の申し出を行う物件は、議案書に記載している土地となる。当該物件は、本渡北小学校駐車場用地として申し出るもので、所在地及び面積等は、議案書記載のとおりである。天草市教育長に対する事務委任規則第2条第1項第4号の規定に基づき、1件当たり5,000㎡又は1件当たり2,000万円以上の財産の取得を市長に申し出るには、教育委員会の議決を経る必要があるため、今回、提案した。本物件の概要等については定例会資料をご覧ください。まず、土地購入価格算出表である。地目は田、現況は休耕田である。この土地について不動産鑑定を行い、宅地見込み地として鑑定した評価額が単価の欄に記載している1㎡あたりの購入単価となった。これに購入面積を乗じて求めた価格が、土地取得予定価格となる。なお、土地所有者からは不動産鑑定価格で

算定した価格での譲渡について、既に内諾を得ている。次に2ページであるが、位置図を添付している。本渡北小学校の東側、グラウンド及び特別教室棟と隣接した土地となる。購入する土地は位置図の中で、境界を太線で囲んでいる部分となる。資料3ページは丈量図である。4ページは駐車場整備平面図である。購入した土地については、当面、本渡北小学校の来校者用の駐車場として整備をし、活用することとしている。通常は平面図の上部側から出入りをして使用し、行事等の場合は平面図下側の幼稚園側も出入り口として開放できるよう整備する予定である。駐車台数は通路を十分確保したところで48台分を確保することとしている。なお、駐車場整備に係る事業費については、来年度予算として要求することとしている。

石井教育長：事務局からの説明について、何か質問等はないか。

花里委員：本渡北小学校の駐車場用地の購入については、私が教育委員に就任してから学校訪問し、真っ先に思ったことである。小学校に隣接する土地で造成された土地があり、住宅が建築されたらどうにもならないと思っていた。今回、購入できることになり良かった。金額的にも所有者に随分と考慮していただいている。今後、北小学校の増築又は改築等について大きな進展になると思う。

木下委員：今後、本渡北小学校の校舎は増築するのか改築するのか、方向性について説明をお願いします。

柴田教育総務課長：まだ、部長・教育長・副市長・市長には計画についての具体的な話はしていないが、教育総務課内での計画は同じ場所での改築をしたいと考えている。校舎を部分的に計画的に改築していく。今回、購入する土地に仮設の校舎を設けて、現校舎の部分的な所を取り壊して改築していく。出来上がったならば、仮設校舎に入居していた学年は本校舎に移ってもらい、また違う校舎を取り壊し、その間仮設校舎に移ってもらうような流れの改築ができないか、課内で話をしている。現校舎は3期に分けて校舎が増築しており、最も古い校舎は50年を経過している。その校舎については、いち早く改築の計画を立てる必要があると考えている。その関係で、今回購入する土地は駐車場として整備するが、整備はアスファルト舗装せず、簡易の舗装をし、改築するまでの間は駐車場として活用する。

木下委員：トイレの数は足りているのか。10分の休み時間の中で、子どもたちは困っていないのか等の話はないのか。

柴田教育総務課長：今回、今年度事業として体育館隣に仮設校舎を2教室分設置する。その打合せ等に行った際に、10分間の休み時間中に低学年はウサギ小屋の横に外トイレがあるが、そこにも並んで使用している状態であると校長からは聞いている。しかし、トイレの数を増やす計画は現在、持っていない。

沢村学校教育課審議員：私も同じように校長から、低学年の方が時間もかかり、特に女子用はトイレの数が不足している。10分間の休み時間に、もしかしたらトイレに行けない子どもがいるのかもしれないとのことである。難しいところもあるが、今後考えていかなければならない。

石井教育長：担任によっては、やはり授業中にトイレに行ってはいけないと言っている。そこは、臨機応変に対応してもらいたいと校長には話をしている。

蓑田委員：新しく整備する駐車場の出入り口は、北幼稚園側1箇所しか作れないのか。

柴田教育総務課長：資料4ページをご覧ください。通常、出入り口として開放するのはプール側の方になる。幼稚園側も門を設置し、通常は締めているが、イベント等で使用する場合はそこを開放する。通常、幼稚園側は開放しない。幼稚園側から出たところは、駐車場として借用している。道路の幅員が狭く、民有地を通って車は出入りをしている。そのため、通常出入りするのとは良くないと考えている。

石井教育長：他に何か質問はないか。なければ議第44号について承認してよろしいか。

(全員同意する)

(5) 協議・報告

(1) 平成31年度市立幼稚園園児募集について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

山本学校教育課長： 資料5ページをお願いします。まず始めに、1の入園の要件であるが、5歳児・4歳児・3歳児と分け、それぞれの要件に該当する誕生日の期間を記載している。次の2の募集期間であるが、平成30年12月3日（月）から翌年の1月4日（金）までとしている。3の入園手続等であるが、(1)では通園区域の指定はないということ、入園申請書の備えてある場所、提出先など、(2)では、月額保育料を記載している。次に3歳児保育については、全ての幼稚園で実施し、1クラス20名の定員で、本渡北幼稚園のみ2クラスとしている。なお、募集定員を超えた場合は抽選となる。最後に5の就園時間になるが、記載のとおり登園は午前8時10分から9時まで、降園は午後2時としている。なお、平成31年度の募集にあたっては、市政だよりあまくさ12月1日号に募集要項を掲載することとしている。

石井教育長： 何か質問等はないか。

花里委員： 保育時間は午後2時までで、預かり保育について議会でも議論されているが、これまでどおり延長保育は実施しないのか。

山本学校教育課長： 預かり保育については、市議会でも市長が前向きに取り組むと答弁されているが、私立幼稚園と公立幼稚園では保育料が異なっており、私立幼稚園連盟から「公立幼稚園の保育料についても所得に応じた設定」が求められている。国が進めている「幼児教育・保育の無償化」により、公立幼稚園と私立幼稚園の保育料が一律に無償となるため、その時期を目途に預かり保育を実施することがタイミング的には良いのではないかと考えている。

花里委員： 例えば、預かり保育を希望する保護者のみの保育料を高くする方法はあると思うが、そのようなことは考えていないのか。

山本学校教育課長： 預かり保育を始めた場合は、1回あたりの料金を設定することになる。基本的に保育料の差があるのは望ましくない。

石井教育長： 保育料を一括で調整するということである。

花里委員： 預かり保育を希望する保護者の中には保育料が高くても良いと思っている人もいるかもしれない。保育料が高くなっても市立幼稚園に通園させたい人もいるのではないのか。2時までの就園時間は共稼ぎ家庭では市立幼稚園に就園させることができない。お金を出して良いから幼稚園教育を受けさせたいという人たちのためにできないのかということである。公立幼稚園の保育料は一律でないといけないのか。

山本学校教育課長：

基本的な保育料に差を設けることは望ましくない。預かり保育を希望する保護者には1回あたりの料金を徴収することになる。

花里委員： もう少し早い時期に預かり保育を実施することはできないのか。

山本学校教育課長： 私立幼稚園の保育料と同一にする必要がある。「幼児教育・保育の無償化」により、公立幼稚園と私立幼稚園の保育料が一律に無償となる時期が良いと考えている。

石井教育長： 結局、私立幼稚園連盟のことを考えると、ニーズはあるが民間を圧迫することはできないということである。限られた子ども数で、民間はバスを走らせて児童を確保されている。

木下委員： 幼児教育の無償化になってから考えるということであるのか。

山本学校教育課長： タイミング的にその時期が良いと考えている。

(2) グローバル人材育成事業の報告について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

山本学校教育課長： 資料は6ページから11ページをお願いします。本市においては平成28年度から全校で英会話科の授業を行い、児童生徒の英語力の向上を図っているが、その一環として京都大学経営管理大学院の留学生6人を招き、英語を用いて様々な国の出身者との異文化交流活動を行ったので、その内容について概要を説明する。まず Amakusa English Day であるが、今年3回目になる。今年度は9月1日(土)に天草宝島国際交流会館ポルトにおいて、午前・午後1回ずつの2回開催した。午前中は小学校低学年を対象として78人、午後は中学生及び小学校高学年を対象として70人の計148人の参加があった。内容は6ページから7ページに記載しているが、全体でのゲーム、グループに分かれての自己紹介を行った後、京都大学経営大学院の留学生と本市ALTの出身国、計10カ国、11のブースを作り、それを子どもたちがグループごとに巡って行く世界旅行として各国の文化、食べ物、暮らしなどについて話を聞き、実際に体験をしながら交流を行った。当日の会話は原則全て英語とし、できるだけ自分の力でコミュニケーションを図るよう指導を行い、分からない場合にはALT及び英語指導補助教員が手助けを行った。参加した児童生徒からは、知らない食べ物や遊びを知ることができ良かったとか、もっと英語が話せるようになっていろいろな国へ旅行したいなどの感想を聞くことができた。次に、学校での交流である。昨年度は新和中学校・御所浦小学校の2校で交流を行ったが、今年度は訪問を1校増やし中学校1校、小学校2校の3校で実施している。8月31日(金)に開催した栖本中学校では、全校生徒が参加し留学生がスライドによる出身国の紹介を行った後、それぞれ設けたブースにおいて生徒との交流を行った。また、栖本中学校生徒から中学校の紹介、お礼の言葉を英語で行っている。この様子については9月2日の熊本日日新聞でも紹介されたので、資料11ページに掲載している。9月3日(月)には天草小学校、9月4日(火)には有明小学校への訪問を行い、天草小学校では全校生徒76名、有明小学校では4～6年生の高学年80名に参加してもらった。小学校ではEnglish Dayと同じ内容を行い、児童は留学生と歌やゲームを楽しんだ後、各国のブースをグループごとに巡って、それぞれの国の名所、食べ物、伝統の踊りなどについて楽しみながら学んだ。今回は延べ350人を超える子どもたちが、外国の言葉や文化に触れことができ、事後のアンケートでもほとんどの児童生徒が英語を話せるようになりたいと回答しており、当初の目標であるコミュニケーション能力の向上やグローバル人材としての必要な資質の素地の育成について、ある程度目的を達成できたと考えている。

石井教育長： 何か質問等はないか。

木下委員： 私はEnglish Dayの午後の部に参加した。保護者も50名ほど参加されたと聞いた。ALTを含めて10名のプレゼンテーションがあった。子供たちは10カ国の世界旅行ができ、感想も楽しかったとか、参加は3回目であるとか、英語を学んで旅行したいというような夢に繋がるような感想が書かれていた。この事業が実施され良かったと思っている。私も知らない国であるアルバニアやモリタニアもあり楽しかった。

蓑田委員： 天草小学校は全校生徒の参加、有明小学校は4～6年生までの参加というのは理由があるのか。

濱中教務1係長： 学校訪問は事前に学校と協議を行い、受け入れ人数及び場所等の関係もあったため、学校で適切な人数と学年を考慮し決定した。

蓑田委員： 年に1回の機会なのでよかったという印象がある。

石井教育長： 県でも八代でEnglish Dayのようなイベントが開催された。八代での開催ということで天草からの参加希望者がいなかった。だから、このようなイベントが必要である。ただし、中学校が実力テストの時期になる。京都大学経営大学院の留学生は夏休み期間を

利用して参加してもらっており、私たちの都合だけで時期を変更することはできない。特にアルバニア、スリランカなど馴染みのあまりない国から参加していただいているので、それだけでも良いことである。触れることが一番良いと思う。

(3) 平成30年第4回市議会定例会一般質問の概要について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 資料12ページから17ページをお願いします。平成30年第4回市議会定例会が8月28日に開会し、9月18日から20日までの3日間において9名の議員から一般質問が行われ、教育委員会関係では澤井議員、五通議員、蓮池議員の3名から質問があった。一般質問の概要については、資料のとおりまとめている。内容として、天草市の教育全般について、LGBTについて、次世代育成支援に関するものであった。質問及び答弁の内容については、資料をご覧ください。

(4) 平成30年11月行事予定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 資料18ページをお願いします。11月の行事予定を掲載している。11月2日（金）には牛深東小学校の単独総合訪問を行う。7日（水）には本渡中学校・五和中学校の経営訪問を行う。18日（日）には御所浦中学校研究発表会が行われる。20日（火）には倉岳小学校の経営訪問、21日（水）には有明小学校の合同総合訪問が行われる。22日（木）14時から教育委員会定例会を本会場で行う予定としている。26日（月）には本渡北小学校の合同総合訪問が行われる。以上、11月の行事予定について説明を終わる。

8 その他

石井教育長： 事務局から他に何かないか。

菅原生涯学習課長： 報告を3点とお願いをさせていただく。9月4日に童話発表天草地方大会が開催され、天草市からは五和小学校5年の宮崎君が県大会に出場することになり、10月20日に県大会が嘉島町民会館で23名の参加で行われた。残念ながら入賞はできなかった。それから社会を明るくする運動作文コンテストにおいて有明小学校6年の阿比留さんが県知事賞を受賞した。10月12日に公表されたが、倉岳小学校PTAが優良PTA文部科学大臣賞を受賞している。それから、平成31年成人式への出席（案）を本日机上に配布させていただいた。教育委員の方々についても記載のとおり出席をお願いしたい。もしも、都合が悪い場合は11月の教育委員会定例会までに連絡をお願いします。

石井教育長： 他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れ様でした。